

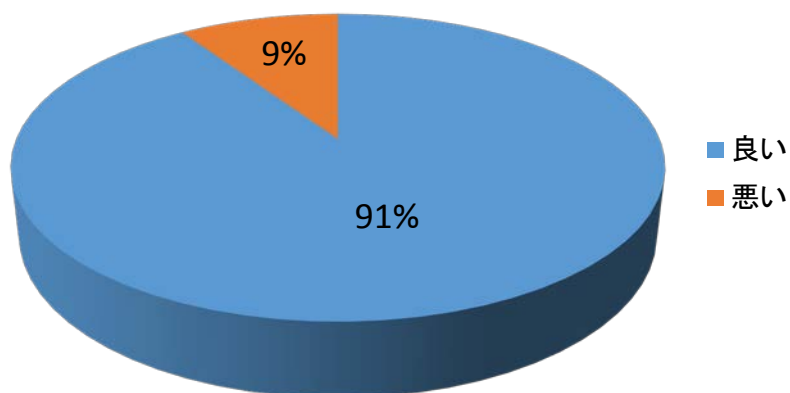
第1回東邦大学医療センター大橋病院医学会 アンケート結果

平成28年7月29日(金) 16:00～20:00
大橋病院臨床講堂
当番診療科:病理診断科

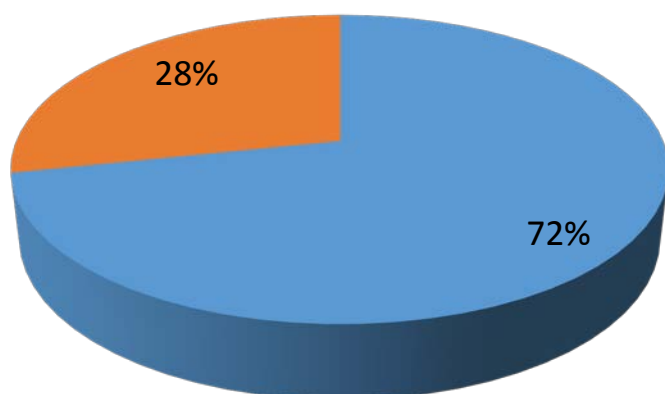
学長	1	
医学部長	1	
医師	63	(7)
研修医	29	
看護部	19	(1)
薬剤部	3	(1)
病院病理部	6	
臨床工学部	2	
視能訓練士	1	
事務部	14	(3)
他	2	(図書館司書1、医学部学生1)
	141	(12)()は定例会メンバー

消化器内科	4
循環器内科	5
腎臓内科	4
神経内科	2
呼吸器内科	6
膠原病リウマチ科	2
小児科	4
外科	3
脳神経外科	3
整形外科	1
心臓血管外科	1
婦人科	2
皮膚科	4
耳鼻咽喉科	1
眼科	8
泌尿器科	5
麻酔科	1
放射線科	1
病理診断科	6
計	63

開催日について

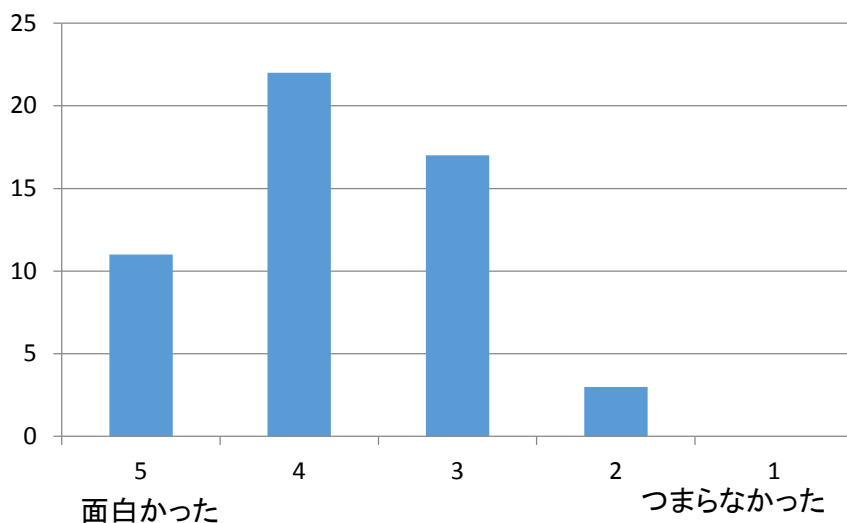


開催時間帯について



希望時間帯	回数
～19:00	1
14:00～18:00	3
15:00～19:00	1
17:00～	2
17:00～18:00	1
17:00～19:00	2
17:00～20:00	1
17:00～21:00	1
9:00～17:00	1
総計	13

会全体についての評価



感想

- 大橋病院という単位ならではの会の趣旨がよいと思いました。
- 他部署の職員の仕事がわかりました。
- 多くの診療科、部門の参加があって良かったと思います。外科系の参加が乏しく少し残念でした。
- 研修医だと理解が追いつかない部分があったので、スライド資料があると助かります。
- 普段の業務に関わりが少ない科の分野の内容
- 初めてであり、どのような人が対象となる会なのか、あまりはっきりした位置づけが分からなかった。研修医発表会との区別もつかず、会が長くなってしまっていると思う。
- 勉強不足での理解不足で正しい評価ができなかった。
- 院内、いろいろな部門からの発表構成となっており、興味深く拝聴しました。
- 仕事が終わらない。
- 各先生方の発表を聞いて、勉強になりました。
- 専門的な内容が多く難しかったですが、各分野の先生方の取り組みを知ることができて有意義に思いました。
- 研修医報告のみしかきいていないので…
- さまざまな分野からの発表があり興味深かったです。
- 時間的に途中からの参加だったため、全て聴くことはできませんでしたが、比較的わかりやすい内容であったと思います。
- 眼科医の私が理解できる演題が少ないのは仕方ないことか？
- 様々な科の発表を聞けるのは良かった。
- Drの発表であり難しかった。

興味深かった演題

- 4. 特別講演「適正な降圧剤使用の重要性」 9
- 9. 迅速な検査及び治療にて救命し得た劇症型好酸球性心筋炎の一例 4
- 15. 血液透析患者におけるFRAXと生命予後との関連 3
- 12. 当科における脳腫瘍治療の実際 3
- 16. 川崎病動脈炎モデルにおけるTNF- α の関与についての組織学的検討 1
- 17. 免疫性末梢神経炎のangiotensin II受容体拮抗薬による実験的治療 1
- 5. 大橋病院におけるクリニカルパス研修「カレーライスパスを作ろう」に対するアンケート結果 1
- 7. 超高齢者に対して大腸ステント留置術を施行した一例 1
- 各科の取り組みの報告 1

特別講演で聞いてみたい内容

- 尾崎先生の心弁膜形成術の術式や術後経過の話
- 各診療科の取り組んでいる、当院独自・特徴的な治療など。
- 移植関連の話題
- 抗凝固薬や抗血小板薬について
- 皮膚科スナッフ診断
- 卵円孔開存症における治療（循環器内科）
- 大橋病院の今後の経営戦略
- 酸化ストレス関連
- 心エコーの基本について
- DMコンサルトのタイミングなど

第2回東邦大学医療センター大橋病院医学会

平成29年2月16日(木) 予定
当番診療科: 膠原病リウマチ科